

コロナ禍で必要な受診を控えていませんか？

～過度な受診控えは健康上のリスクを高める可能性があります～

■ 症状のある人は受診しましょう

症状があっても受診を我慢していませんか。自己判断で受診を控えたり、処方薬を中断したりすると、慢性疾患の悪化や病気の進行につながるなど健康上のリスクを高める可能性があります。早く受診しておけばよかったと後悔しないためにも症状のある場合は適切に受診しましょう。

なお、発熱や咳などの症状がある方は、事前に電話で相談のうえお越しください。

■ 健康診断を延期しないでください

健診は死亡原因の上位であるがんの早期発見や心血管疾患（心筋梗塞や脳卒中）などの予防が主な目的です。また、様々な病気の危険因子をチェックすることができます。

病気には自覚症状が現れにくく、無症状の場合も多くありますので定期的に健診やがん検診を受けることが重要です。

■ 感染防止対策を万全に行っています

当院では通常の清掃に加え、特に人が多く接触する手すり・机・イスなどの消毒を毎日こまめに行っています。また、定期的に換気をするなど、集団感染予防にも日々努めています。

感染防止対策を適切に行い、院内で感染しないよう、病院全体で対策を強化しています。

検温などの徹底

正面玄関入り口で入館者全員に手指消毒・マスク着用のチェック・検温を実施しています。

動線を分けています

新型コロナウイルスの感染疑いのある方や発熱などで受診される方の入り口を別にし、動線を分ける対策を実施しています。また、診察やPCR検査などは、一般の患者様とは別の診察室で行っています。

飛沫防止

新型コロナウイルス感染症は咳やくしゃみ、それらで汚染された環境などから人へ感染します。ウイルスをうつさない、うつらないを徹底するために、病院スタッフはマスクやフェイスシールドなどの个人防护具を着用し、窓口にも飛沫防止用のシートを設置するなど、感染防止対策の徹底に努めています。